合同セッションN「インフォマティクス応用」の開設にあたって

Introduction of joint session N “Informatics”

理研[1], 物材機構[2], 産総研[3], 東京女子医大[4], 東大[5], 大阪府大[6]

○沓掛健太朗[1], 知京豊裕[2], 寺崎正[3], 辻野賢治[4], 高橋竜太[5], 小菅厚子[6], 宮寺哲彦[3]

RIKEN[1], NIMS[2], AIST[3], TWMU[4], The Univ. of Tokyo[5], Osaka Pref. Univ.[6]

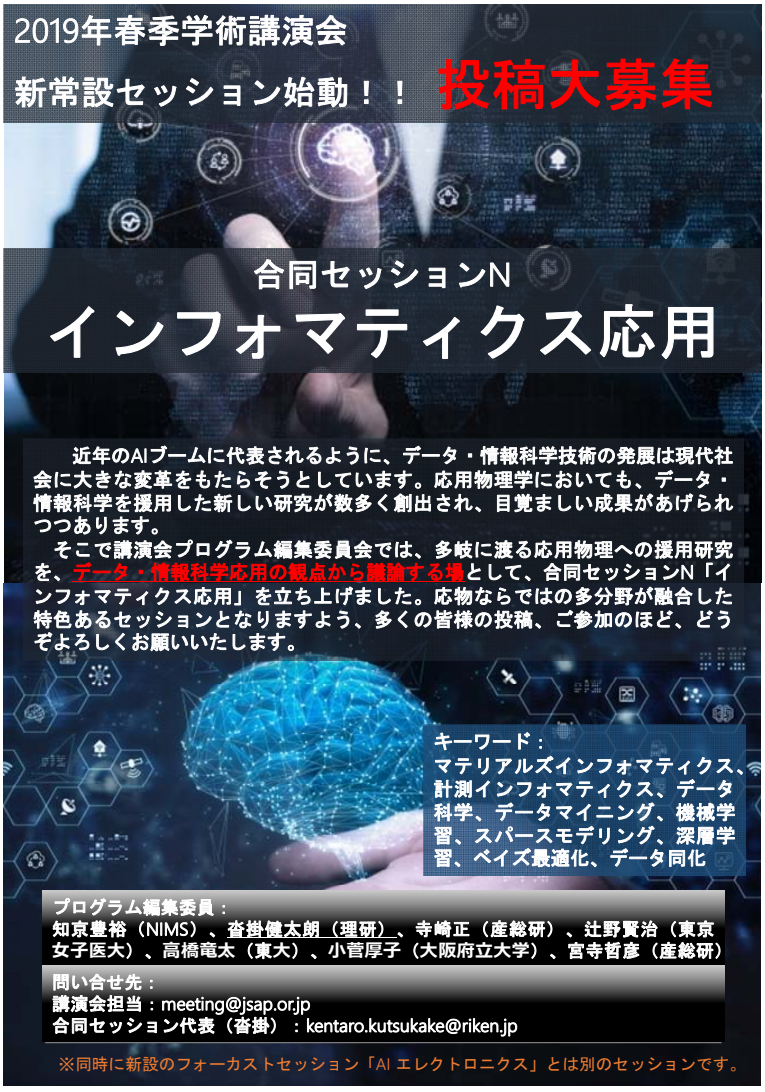
°Kentaro Kutsukake[1], Toyohiro Chikyow[2], Nao Terasaki[3], Kenji Tsujino[4],

Ryota Takahashi[5], Atsuko Kosuga[6], Tetsuhiko Miyadera[3]

E-mail: kentaro.kutsukake@riken.jp

近年の AI ブームに代表されるように、データ・情報科学技術の発展は現代社会に大きな変革をもたらそうとしています。応用物理学においても、データ・情報科学を援用した新しい研究が数多く創出され、目覚ましい成果があげられつつあります。

そこで講演会プログラム編集委員会では、多岐に渡る応用物理への援用研究を、データ・情報科学応用の観点から議論する場として、合同セッション N「インフォマティクス応用」を立ち上げました。応物ならではの多分野が融合した特色あるセッションとなりますよう、多くの皆様の投稿、ご参加のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



© 2019年 応用物理学会